

### 2021年度 成果

- ・県地域振興課・県内オールトヨタで構成される「元気だけん！くまモン県プロジェクト」で「海ごみゼロウィーク」を中心に清掃活動など海洋ごみ削減のための取り組みを行い、番組を通じて全県民に向けて発信。
- ・県循環社会推進課・環境立県推進課を通じて、県内各市町村の環境系部局に「海ごみゼロウィーク」の周知と展開を要請。特に水俣市、芦北町とは、下記施策を通じて今後につながる関係値を強化。また、コラボポロシャツを作成し、各行政担当者に配布し、庁内での発信に活用。
- ・熊本市教育センターとの連携により、子供たちに対しての「海洋ごみ教育」を展開する施策を実施。一方的な講義にとどまらず、子供たちが自分で調べ、自分の言葉で伝えられるようになることを目指し、個人個人が海洋ごみを削減するためにどうするべきかまで落とし込む教育を展開。



#### 学校教育連携モデル

熊本市教育センターとの連携により、田迎西小・日吉東小の5年生（合計180名）を対象に、総合学習の時間を活用して海洋ごみ教育を展開。



#### SUPイベント連携モデル

水俣市・湯の児海水浴場で行われたSUPイベントで、CFB啓発活動・清掃活動を展開。再生した水俣の海においてCFB事業をアピール。



#### 漁協連携モデル

芦北漁協と連携し、4隻のうたせ船の帆にCFBロゴを掲出。漁業従事者を含めた地元民、観光客に対してCFBの認知拡大を図る。無人島の清掃活動も実施。



#### 企業連携モデル

リサイクル素材を生産する「日本環境設計」のポロシャツ、生分解性素材から食器を生産する「アミカテラ」とオリジナル商品を開発

その他：Eスポーツイベントを実施

### メディア露出



6/2 「元気だけん！くまモン県プロジェクト」海ごみゼロウィーク



11/9 「海と日本プロジェクトinくまもと」森下誠さんの海洋教育



11/17 「元気だけん！くまモン県プロジェクト」MINAMATA PADDLE FESTIVAL



12/15.22 「元気だけん！くまモン県プロジェクト」芦北漁協 無人島清掃・ロゴ入りうたせ船



TV番組年間放送12本、Web動画年間10本、その他SNS発信

### 2021年度の課題とこれからの展望

- ・学校教育においては、「海洋ごみ教育」が総合学習の定番となるような仕組みづくりが必要。22年度にも継続して熊本市教育センターと連携し、自走できるよう働きかけていく予定。また、22年4月には、熊本市で開催される「アジア・太平洋水サミット」において、ステージ発表を予定。
- ・芦北漁協との協業により、うたせ船の帆にCFBロゴを掲出したが、それだけで終わるのではなく、芦北町全体でよりCFBの機運が高まる施策を検討。町役場、漁協と連携し22年度事業に引き継ぐ。
- ・行政との接点はある程度各所で持っているが、地元企業との連携に課題があり、より幅広い一般消費者との接点を求めて、企業との連携を模索したい。